

(別紙様式4)

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和元年5月31日※1
(前回公表年月日:平成31年3月15日)

職業実践専門課程の基本情報について

| 学校名 | | 設置認可年月日 | | 校長名 | | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|-----------------------|---------------|-----------------------|---|--|------------|--------|---|------|------|---------------|---|-----|-----|-------------------|---|-----|-----|-----------------|---|----|----|-----------------|---|----|----|------------------|---|-----|----|
| 福岡ベルエポック美容専門学校 | | 平成16年3月25日 | | 田中 浩一 | | 〒812-0033 福岡県福岡市博多区大博町4-17 (電話) 092-282-9100 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設置者名 | | 設立認可年月日 | | 代表者名 | | 所在地 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校法人滋慶学園 | | 昭和58年12月23日 | | 浮舟 邦彦 | | 〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分野 | 認定課程名 | 認定学科名 | | 専門士 | 高度専門士 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 衛生 | 衛生専門課程 | トータルビューティ科 | | 平成17年文部科学省 告示第176号 | - | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学科の目的 | 専門性の高い美容技術の習得と、お客様に最高の満足を感じて頂けるホスピタリティーを理解した人材の育成を目指す。また、内面からの健康的な美しさをアドバイスできるよう、専門分野だけでなく幅広い美容知識を学び、業界にふさわしい身だしなみを備えた人材を養成し、美容部員、ネイリスト、エステティシャン、ファッションアドバイザーになる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 認定年月日 | 平成31年3月15日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 昼間 | 1860時間62単位 | 1170時間39単位 | 1650時間55単位 | 720時間24単位 | 0時間 | 1650時間55単位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒総定員 | | 生徒実員 | 留学生数(生徒実員の内数) | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 160人 | | 93人 | 0人 | 3人 | 28人 | 31人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学期制度 | ■前期:4月第2週～9月第5週 ■後期:10月第1週～3月第5週 | | | 成績評価 | ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期テスト(中間テスト・期末テスト)および小テストの成績で総合判断とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長期休み | ■学年始:4月1日～4月第1週 ■夏 季:7月第5週～8月第4週 ■冬 季:12月第4週～1月第1週 ■学年末:3月第3週～3月第5週 | | | 卒業・進級条件 | 学年ごとに修了すべき教科科目の授業に7割以上出席しており、試験に合格している者は科目修了の認定を受け、卒業進級判定会議にてその成果が修了認定すべきものと認められた場合、卒業または進級認定を受ける。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学修支援等 | ■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 保護者を含めた面談による指導 | | | 課外活動 | ■課外活動の種類 学生スタッフ活動(オープンキャンパスでの来校者対応で接客力を学ぶ)、学園祭および体育祭実行委員、業界と連携した企業プロジェクト等 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する令和30年5月1日時点の情報) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 就職等の状況※2 | ■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) 化粧品企業、ネイルサロン、エステティックサロン、アパレル ■就職指導内容 求人案内、履歴書作成支援、就職模擬面接、校内企業説明会の実施 ■卒業生数: 52人 ■就職希望者数: 46人 ■就職者数: 46人 ■就職率: 100% ■卒業生に占める就職者の割合: 88.5% ■その他 卒業のみ:6人 (平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報) | | | 主な学修成果(資格・検定等)※3 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AEA上級エステティシャン</td> <td>③</td> <td>17人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>Alpha認定上級エステティシャン</td> <td>③</td> <td>11人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>JNAジェルネイル技能検定準級</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>JNAジェルネイル技能検定準級</td> <td>③</td> <td>7人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>JENネイルコース技能検定特別級</td> <td>③</td> <td>16人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 ケザランパサランフォトコンテスト2018グランプリ受賞</p> | | | 資格・検定名 | 種 | 受験者数 | 合格者数 | AEA上級エステティシャン | ③ | 17人 | 16人 | Alpha認定上級エステティシャン | ③ | 11人 | 11人 | JNAジェルネイル技能検定準級 | ③ | 6人 | 6人 | JNAジェルネイル技能検定準級 | ③ | 7人 | 7人 | JENネイルコース技能検定特別級 | ③ | 16人 | 2人 |
| 資格・検定名 | 種 | 受験者数 | 合格者数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| AEA上級エステティシャン | ③ | 17人 | 16人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Alpha認定上級エステティシャン | ③ | 11人 | 11人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| JNAジェルネイル技能検定準級 | ③ | 6人 | 6人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| JNAジェルネイル技能検定準級 | ③ | 7人 | 7人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| JENネイルコース技能検定特別級 | ③ | 16人 | 2人 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中途退学の現状 | ■中途退学者 5名 平成30年4月1日時点において、在学者105名(平成30年4月1日入学者を含む) 平成31年3月31日時点において、在学者100名(平成31年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、目的意識の低下、人間関係 ■中退防止・中退者支援のための取組 中退防止:担任・学科長・スクールカウンセラーによるカウンセリング 中退者支援:グループ姉妹校への再入学、自校内学科への転科の実施 | | | ■中退率 4.8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 経済的支援制度 | ■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 希望者に対し特待生試験を実施し、採用者には授業料の一部を減免している。(家庭の経済状況は考慮していない) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第三者による学校評価 | ■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 当該学科のホームページURL | http://www.fbe.ac.jp/gakka/totalbeauty | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「就職」とは給料、資金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会において業界ニーズを把握した上で、卒業後3年後の到達目標(養成目的)と卒業時における到達目標(教育目標)を設定し、カリキュラム編成を行っている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校の教育課程編成委員会は、学校関係者評価委員会による評価内容を基に教育内容、教育方法の客観的評価と改善提案を行う。この改善提案は企業連携のもと、実践的かつ専門的な観点から業界から求められる教育について検討する。本委員会にて提案・助言があった事項については、教務部長が中心となり、本校FDC、当該学科職員と共にカリキュラムの構築や教育内容の改善・工夫を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年10月30日現在

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|--------|-----------------------------------|-------------------------|----|
| 矢田 綾香 | 日本化粧品検定協会 顧問 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | ① |
| 山田 陵子 | TBCグループ株式会社 西日本教育センター センター長 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | ② |
| 高井 しおり | 株式会社アスタイルキャリア 人材派遣事業部 美容部員派遣 グループ | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | ③ |
| 古島 昭博 | 学校法人 滋慶学園 常務理事 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | |
| 田中 浩一 | 福岡ベルエポック美容専門学校 学校長 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | |
| 岩村 勇 | 福岡ベルエポック美容専門学校 運営本部長 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | |
| 菅原 大輔 | 福岡ベルエポック美容専門学校 事務局長 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | |
| 仁村 将大 | 福岡ベルエポック美容専門学校 教務部長 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | |
| 富永 理恵子 | 福岡ベルエポック美容専門学校 トータルビューティ学科長 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | |
| 菅原 綾乃 | 福岡ベルエポック美容専門学校 トータルビューティ科 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | |

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、9月)

(開催日時(実績))

第1回 令和元年5月20日 13:00～15:00

第2回 令和元年10月21日 13:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

接客販売ロープレ基礎科目で接客の基本を身につけるということをも更に行うのであれば、実際の店舗で授業やロールプレイングを行うのは評価を頂いているので、実際にお客様に触れる現場体験の要素を取り入れる。キャリアマネジメント科目では業界で活躍するために必要なマインドとスキルを身につけるのであれば、実際の店舗で卒業生が働いている様子や、現場スタッフが働いている様子を見るだけでも勉強になるので、見学を積極的に導入をする。

| | | |
|---|------------------------------------|---------------------------------|
| 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係 | | |
| (1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 建学の理念にも掲げている実学教育の実現のため、即応力を身に付けるために企業と連携をして教育提携を結び、実践的な技術教授のための授業内容を構築する。また業界外部講師を招聘し、業界ニーズに応えられる実践的な技術・知識を学生に提供することを基本方針とする。 | | |
| (2) 実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記 業界の求める技術・知識水準を指導できる講師を連携企業から派遣してもらう。事前に教務部長や学科長と連携企業の講師が授業前に、授業内容、評価等について定める。連携企業講師には、シラバスの策定、試験の実施、評価まで行ってもらおう。 | | |
| (3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。 | | |
| 科目名 | 科目概要 | 連携企業等 |
| プロフェッショナルへの道 | 業界で活躍するために必要なマインドとスキルを身につける | 原口裕美 □ Repos total beauty salon |
| パソコンワーク | 現場に必要なPCスキルを学び、活用できるようになる | Liebeエンタープライズ株式会社 |
| トップブランドゼミ | 企業の方から直接、現場で必要とされる知識、技術、心構えを学ぶ | 株式会社ワールドストアパートナーズ |
| サロンワークエステ | エステサロンの運営を通して、接客力や現場力を身につける | TBCグループ株式会社 |
| ハイブランドコスメ | 各ブランドについてコスメの特徴について説明することができるようになる | 永岡紗妃(株式会社アルビオン) |
| 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的にやっていること。」関係 | | |
| (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 学園の定める教員研修規定において、教員の授業内容・教育技法の改善ならびにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の基本方針とする。 | | |
| (2) 研修等の実績 | | |
| ① 専攻分野における実務に関する研修等 研修名「 指導者のための講師スキルアップ研修会 」(連携企業等: 日本エステティック協会) 期間: 2/15 対象: 専任教員 内容: プロモーションメイク(むくみ、セルライト、脂肪過多へのアプローチ)、リラクゼーション(身体的疲労、精神的疲労へのアプローチ)を目的としたマッサージの組立てに関する講義、デモンストレーション(プロモーションメイクとリラクゼーションの例)、グループワーク(技術構築)を通して、お客様の悩みと手技の効果を結び付けての理解、目的に沿った的確なテクニックの選択、マッサージを組立てるスキル、学生への指導法を学ぶ。 | | |
| ② 指導力の修得・向上のための研修等 研修名「 FDマイクロレベル研修 」(連携企業等: 滋慶教育科学研究所) 期間: 3/30 対象: 専任教員 内容: 学生変化に沿った教授法の基本を習得。コーチングの基礎を学び授業工夫ができるようになる。 | | |
| (3) 研修等の計画 | | |
| ① 専攻分野における実務に関する研修等 研修名「 指導者のための講師スキルアップ研修会(フェイシャル編) 」(連携企業等: 日本エステティック協会) 期間: 3/18 対象: 専任教員 内容: 協会の講師資格保持者、取得を目指している方、認定校や登録教室、サロン等で指導する立場にいる方を対象とした指導力を高めるための研修会 | | |
| ② 指導力の修得・向上のための研修等 研修名「 FDマイクロレベルフォローアップ研修 」(連携企業等: 滋慶教育科学研究所) 期間: 7/9 対象: 専任教員 内容: 授業の振り返りを行い授業改善の工夫や授業リフレクションにてグループと個人の成長を促すコーチングスキルについて学び、実践する。 | | |

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己点検・自己評価に基き、学校関係者評価委員会を実施する。本委員会は学校の理念を踏まえた上で教育機関としての学校のあり方を客観的に評価し助言を行うことで、適切な教育提供に結びつくようにする。この助言を受け学校はPDCAサイクルに基き分析・検証を行い学校運営の改善に取り組むことを基本方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの評価項目 | 学校が設定する評価項目 |
|----------------|---------------------------------|
| (1) 教育理念・目標 | 理念・目的・育成人物像 |
| (2) 学校運営 | 学校運営、運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、意思 |
| (3) 教育活動 | 教育活動、目標の設定・評価等、成績評価・単位認定等、資格・免許 |
| (4) 学修成果 | 就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価 |
| (5) 学生支援 | 就職等進路、中途退学への対応、学生相談、学生生活、保護者との |
| (6) 教育環境 | 施設・設備等、学外実習・インターンシップ等、防災・安全管理 |
| (7) 学生の受入れ募集 | 学生の募集と受入れ、学生募集活動、入学選考、学納金 |
| (8) 財務 | 財務、財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報公開 |
| (9) 法令等の遵守 | 法令等の遵守、関係法令、設置基準等の遵守、個人情報保護、学校 |
| (10) 社会貢献・地域貢献 | 社会貢献・地域貢献、ボランティア活動 |
| (11) 国際交流 | |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

専門教育に加えて商業知識やコミュニケーション力を高める教育や、職員に対する研修についてもその充実を図るよう要望があり、早速、カリキュラム変更の検討や職員向け研修について受講内容・対象職員の計画を立てるようにしている。

また教育内容に関しては一定の評価を頂けたが、就職支援においては離職率に関して在学中からの学生への就労教育について更なる充実を求められたので、この意見を今後の教育に反映させていく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成30年10月30日現在

| 名前 | 所属 | 任期 | 種別 |
|--------|-----------------------------|-------------------------|---------|
| 力武 穂絵 | 美容師科 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | 卒業生代表 |
| 築地 美穂 | トータルビューティ科 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | 卒業生代表 |
| 石井 和子 | 美容師科1年生、2年生 保護者 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | 保護者代表 |
| 矢ヶ崎 裕和 | 福岡県立香椎高等学校 校長 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | 高等学校関係者 |
| 春山 大輔 | 大浜自治協議会 大浜祭り委員会 委員長 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | 地域関係者 |
| 早田 健 | 福岡ブレンド (lott annibirthオーナー) | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | 業界関係者 |
| 矢田 綾香 | 日本化粧品検定 顧問 | 平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年) | 業界関係者 |

※委員の種類の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(公開方法: ホームページ 公開時期: 委員会終了後随時)

<https://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の情報提供は基本的にはホームページを通じて行っている。これは企業をはじめとする業界諸氏についても同様である。提供する情報については学校の紹介に始まり平素の学校教育について、その取り組みを配信している。これにより企業等との連携が生じ、学校教育や就職の支援などの充実につなげていくことを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| ガイドラインの項目 | 学校が設定する項目 |
|--------------------|----------------------------------|
| (1) 学校の概要、目標及び計画 | 開校の目的、建学の理念 |
| (2) 各学科等の教育 | 各学科の入学定員・養成目的、教育システムとカリキュラム体系 |
| (3) 教職員 | 教職員数 |
| (4) キャリア教育・実践的職業教育 | キャリア教育への取り組み、実習・実技、企業との連携紹介、就職支援 |
| (5) 様々な教育活動・教育環境 | 教育活動、企業プロジェクト、校舎・設備紹介 |
| (6) 学生の生活支援 | 学生寮・1人暮らしサポート、就職サポート |
| (7) 学生納付金・学費支援 | 学生納付金情報、学費サポートシステム |
| (8) 学校の財務 | 決算書、監査報告書 |
| (9) 学校評価 | 自己点検・自己評価、学校関係者評価 |
| (10) 国際連携の状況 | 国際交流 |
| (11) その他 | 社会との取り組み(産学連携)、災害時非常煮の対応 |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

■本校ホームページにて公開

URL: <http://www.fbe.ac.jp/concept/jyouhou>

授業科目等の概要

| (衛生専門課程トータルビューティ科) 2019年度 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------|------|------|--------------------|--|---------|------|-----|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 分類 | | | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | 授業方法 | | | 場所 | | 教員 | | 企業等との連携 |
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 | | | | | | 講義 | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 | |
| ○ | | | 導入教育Ⅰ(集中) | 目的意識を高め・目標を設定する事ができる。また、自己、他者理解をすすめ、相互支援関係を築く事が出来る。 | 1前 | 30 | 1 | | ○ | | ○ | | ○ | | |
| ○ | | | おもてなし資格検定 | 美容のプロとして必要な気構え・身構え・心構えを身に付 | 1前 | 30 | 1 | | ○ | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | パソコンワーク | 社会人として必要な最低限のパソコンのスキルを身につけ、実践することができる | 1前 | 30 | 1 | | ○ | | ○ | | | ○ | ○ |
| ○ | | | メイクアップ基礎 | メイクアップの基礎を学び、JESCメイクアップアーティスト検定資格取得を目指す | 1前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 特殊メイク | メイクアップアーティストとしての基礎を学び、傷メイクやフェイスペイントなどの特殊メイクを施せるようになる | 1前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | エステティック基礎 | フェイシャルのクレンジングとマッサージの基礎手技を学び、モデルへの施述ができるようになる | 1前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | ネイル基礎 | ネイルケア、ネイルアートの基本を習得し、モデルへ施述することができる | 1前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | ファッション基礎 | 海外の美容文化やトレンド、自国について学び、自身の視野を広げ、完成を身につける。 | 1前 | 60 | 2 | | ○ | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | トップブランド/サロンゼミⅠ(集中) | 目的意識をもって、積極的に学習に取り組む姿勢を身につける。 | 1前 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | | ○ | ○ |
| ○ | | | プロフェッショナルへの道Ⅰ | 業界で活躍するために必要なマインドとスキルを身につける。 | 1前 | 30 | 1 | | ○ | | ○ | | | ○ | ○ |
| ○ | | | キャリア開発(集中) | 学校行事、イベント等において、企画・運営をチームで行い、協働するためのマインドとスキルを身につける。 | 1前 | 30 | 1 | | ○ | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 導入教育Ⅱ(集中) | 卒業後への目的にむけて、2セメスターの目標を定め、実行計画を立てる | 1後 | 30 | 1 | | ○ | | ○ | | | ○ | |
| ○ | | | 国際教育(集中) | 海外の美容文化やトレンド、自国について学び、自身の視野を広げ、完成を身につける。 | 1後 | 30 | 1 | | ○ | | ○ | | | ○ | |
| | ○ | | 撮影テクニック | 作品をスチールや動画で表現することができる | 1後 | 60 | 2 | | ○ | | ○ | | | ○ | |

| | | | | | | | | | |
|---|--------------|--|----|----|---|---|---|---|---|
| ○ | ハイブランドコスメ | 各ブランドについてやそれぞれのコスメの特徴について説明する事が出来るようになる | 1後 | 60 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | ヘアアレンジ | ピンやコームの使い方を習得し、アレンジの基本を身につける | 1後 | 60 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | 日本化粧品学Ⅰ | 日本化粧品検定試験受験に向け、スキンケアや成分についての知識を習得する | 1後 | 30 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | 就職講座Ⅰ | 就職に向けて、自己分析、面接など一連の流れを理解し活動できるようにある | 1後 | 30 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | 色彩技能検定モジュール1 | 色彩技能パーソナルカラー検定初級に向けて、内容を理解し、適切な回答が出来るようになる | 1後 | 30 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | 作品メイクⅠ | テーマを設定し、それに沿ったメイクを表現できるようにする | 1後 | 60 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | サロンワークメイクⅠ | 美容部員としての立ち振る舞いを身につけ、お客様へ接客できるようにする | 1後 | 90 | 3 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | 作品メイクⅡ | テーマに合わせた作品を作品として表現する事が出来る(ケサランパサランコンテスト) | 2前 | 60 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | イベント制作 | ファッションショー実施に向け、実行計画が完了する | 2前 | 60 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | 日本化粧品学Ⅱ | 日本化粧品検定2級受験に向けて、コスメの成分や内容について理解する | 2前 | 30 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | フレグランス演習 | 国内外のフレグランス商品について特徴を理解する事が出来る | 2前 | 30 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | 韓国コスメ | 人気の韓国コスメについてそれぞれの商品の特徴を理解し、商品にあった方法を身につける | 2前 | 30 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | 色彩技能検定モジュール2 | 色彩技能パーソナルカラー検定中級に向けて、内容を理解し、適切な回答が出来るようになる | 2前 | 30 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | 就職講座Ⅱ | 業界で活躍するために必要なマインドとスキルを身につける | 2前 | 30 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | ベルコンメイク対策 | ベルコン予選に向け、イメージメイクのレベルアップをし、作品に対してプレゼンテーションできるようにする | 2前 | 60 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | サロンワークメイクⅡ | 接客の際の立ち振る舞いやマナーが実践できるようにする | 2前 | 90 | 3 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | 接客カウンセリング | お客様が何を求めているのか、傾聴する事ができるようにする | 2前 | 30 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ |

| | | | | | | | | | | | | |
|---|-----------------|--|----|-----|---|--|---|---|---|--|---|---|
| ○ | 作品制作Ⅰ | ネイルの作品の作成方法や手順、テクニックを身につける | 2前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ |
| ○ | ネイリスト技能検定1級対策 | ネイリスト技能検定1級合格を目指し、タイムの短縮を技術の向上を図る | 2前 | 120 | 4 | | | ○ | ○ | | | ○ |
| ○ | ネイル検定対策(集中) | ネイリスト技能検定1級検定直前対策講座 | 2前 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | | ○ |
| ○ | ジェルネイル検定中上級対策 | ジェルネイル検定中級合格のために必要なテクニックを習得し、レベルアップを図る | 2前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ |
| ○ | 作品制作Ⅱ | ベルコンに向けた作品を作成する | 2前 | 60 | 2 | | ○ | | ○ | | | ○ |
| ○ | ベルコンネイル対策Ⅱ | ベルコンで作成する作品制作とプレゼンテーションをする事が出来る | 2前 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ |
| ○ | サロンワークネイルⅡ | サロン運営に必要な知識、技術、マナーを身につける | 2前 | 90 | 3 | | | ○ | ○ | | | ○ |
| ○ | イクステンションデザイン | アクリルのレベルアップ、デザインスカルプやフレンチスカルプの技術を習得する | 2後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ |
| ○ | ジェルネイル検定上級対策 | ジェルネイル検定上級合格のために必要なテクニックを習得し、レベルアップを図る | 2後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ |
| ○ | サロンワークテクニック | サロン運営に必要な知識、技術、マナーを身につける | 2後 | 90 | 3 | | ○ | | ○ | | | ○ |
| ○ | サロンワークネイルⅢ | お客様への背術やサロンの運営について学び、実践する | 2後 | 90 | 3 | | | ○ | ○ | | | ○ |
| ○ | 就職講座Ⅲ | 就職後に必要となる知識、技術、マナー、心構えを身につける | 2後 | 30 | 1 | | ○ | | ○ | | ○ | |
| ○ | ベルコンネイル対策Ⅲ(集中) | ベルコン直前の集中講座 | 2後 | 30 | 1 | | ○ | | ○ | | | ○ |
| ○ | ネイルマシンテクニック(集中) | ネイルのマシンの使い方を学び、使用方法を身につける | 2後 | 30 | 1 | | ○ | | ○ | | | ○ |
| ○ | 栄養学 | 栄養と体の関係を理解し、お客様に対するカウンセリングに活かすことが出来る。 | 1後 | 30 | 1 | | ○ | | ○ | | | ○ |
| ○ | 化粧品学 | 化粧品の成分と肌への影響を理解し、お客様へのアドバイスが出来るようになる。 | 1後 | 30 | 1 | | ○ | | ○ | | | ○ |
| ○ | 皮膚科学Ⅰ | 様々な皮膚についての基礎知識を身につける | 1後 | 30 | 1 | | ○ | | ○ | | | ○ |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------|---|----|-----|---|---|--|--|---|---|--|--|---|--|-----|
| ○ | フェイシャルエステⅠ | エステティックにおけるカウンセリングの理論と実施、およびカルテへの記載方法の基本を身につける。 | 1後 | 90 | 3 | | | | ○ | ○ | | | | | ○ |
| ○ | ボディエステⅠ | 理想ラインを作るためにマッサージや機器を使ったボディエステの手法を習得する。 | 1後 | 180 | 6 | | | | ○ | ○ | | | | | ○ |
| ○ | 解剖生理学Ⅰ | 身体の基本となる骨や筋肉についての基礎知識を身につける | 1後 | 30 | 1 | ○ | | | | ○ | | | | | ○ |
| ○ | ベルコンエステ対策Ⅰ | ベルコンに向けて、エステの技術的に、プレゼンテーションのやり方を覚える | 1後 | 60 | 2 | | | | ○ | ○ | | | | | ○ |
| ○ | 就職講座Ⅰ | 就職時に必要となる知識、技術、マナーなどを身につける | 1後 | 30 | 1 | ○ | | | | ○ | | | ○ | | |
| ○ | サロンワークエステⅠ | エステティックにおけるカウンセリングの理論と実施、およびカルテへの記載方法の基本を身につける。 | 1後 | 90 | 3 | | | | ○ | ○ | | | | | ○ ○ |
| ○ | 皮膚科学Ⅱ | 様々な皮膚についての基礎知識を様々なお客様への提案に活用することができる | 2前 | 30 | 1 | ○ | | | | ○ | | | | | ○ |
| ○ | エステ理論Ⅰ | エステティックの基本理論を理解する | 2前 | 30 | 1 | ○ | | | | ○ | | | | | ○ |
| ○ | フェイシャルエステⅡ | フェイシャルエステの知識、技術を応用することができる | 2前 | 90 | 3 | | | | ○ | ○ | | | | | ○ |
| ○ | ボディエステⅡ | ボディエステの知識、技術を応用することができる | 2前 | 90 | 3 | | | | ○ | ○ | | | | | ○ |
| ○ | メイク・ネイル・脱毛 | エステサロンで必要となるメイク、ネイル、脱毛について基礎を習得する | 2前 | 60 | 2 | | | | ○ | ○ | | | | | ○ |
| ○ | AEA筆記対策(集中) | AEA直前対策講座 | 2前 | 30 | 1 | ○ | | | | ○ | | | | | ○ |
| ○ | ベルコンエステ対策Ⅱ | ベルコンに向けて、エステの技術、プレゼンテーションを向上させ入賞を目指す | 2前 | 60 | 2 | | | | ○ | ○ | | | | | ○ |
| ○ | サロンワークエステⅡ | エステサロンの運営を通して、接客力や現場力を身につける | 2前 | 90 | 3 | | | | ○ | ○ | | | | | ○ ○ |
| ○ | Ajesthe筆記対策 | Ajesthe検定筆記試験対策講座を通して、合格を目指す | 2後 | 30 | 1 | ○ | | | | ○ | | | | | ○ |
| ○ | セラピー実技 | 世界のエステを学び知識を深めることができる | 2後 | 60 | 2 | | | | ○ | ○ | | | | | ○ |
| ○ | エステ理論Ⅱ | エステティックの理論を基本とした接客を提供できるようになる | 2後 | 30 | 1 | ○ | | | | ○ | | | | | ○ |

| | | | | | | | | | | | |
|----|-------------|------------------------------|-------|----|---|---------------|--|---|---|---|---|
| ○ | 解剖生理学Ⅱ | 解剖生理学に基づいた提案をお客様へ提供できるようになる | 2後 | 30 | 1 | ○ | | ○ | | ○ | |
| ○ | フェイシャルエステⅢ | お客様へ満足いただけるディシャルの知識、技術を習得する | 2後 | 90 | 3 | | | ○ | ○ | | ○ |
| ○ | ボディエステⅢ | お客様に満足いただけるボディの知識、技術を習得する。 | 2後 | 90 | 3 | | | ○ | ○ | | ○ |
| ○ | サロンワークエステⅢ | お客様に満足していただけるサロン運営を学び、習得する | 2後 | 90 | 3 | | | ○ | ○ | | ○ |
| ○ | インナービューティ | 身体の内側から美しくなるための知識、技術を身につける | 1後 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | ○ |
| ○ | ビューティエクササイズ | エクササイズを通してボディメイクする知識、技術を習得する | 1後 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | ○ |
| ○ | アロマセラピー検定対策 | アロマセラピー1級対策講座 | 2後 | 30 | 1 | | | ○ | ○ | | ○ |
| ○ | 着付 | 着物の着付けを学び、初伝、中伝を取得する | 2後 | 60 | 2 | | | ○ | ○ | | ○ |
| 合計 | | | 107科目 | | | 5340時間(178単位) | | | | | |

| 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | |
|--------------|----------|-----|
| 1860時間62単位以上 | 1学年の学期区分 | 2期 |
| | 1学期の授業期間 | 15週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。